

2019年度(平成31年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第1期募集)
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	法理学1		
問題区分	一般・外国人・共通	解答用紙枚数	2枚

1に解答し、さらに2と3のいずれか一つに解答しなさい。

1. グスタフ・ラートブルフ(Gustav Radbruch)が1946年に「法律上の不法と法律を超える法」で行った主張(別紙¹参照)は、のちにラートブルフ定式と呼ばれるようになり、戦後処理を扱う西ドイツの裁判所や、東西ドイツ統一後のドイツの裁判所に大きな影響を与えた。この定式の内容について、ラートブルフの戦前(第二次大戦前)の主張と比較しつつ論じなさい。
2. ハンス・ケルゼン(Hans Kelsen)の法理論について、「法の段階構造」「根本規範」という語を用いつつ説明しなさい。
3. 「正義」について説明しなさい。その際、平等原則(等しきものは等しく取り扱え)、分配的正義、矯(匡)正的正義及び交換的正義に触れること。

以上

¹ 上田健二訳「ナチス体制確立期からその死に至るまでのグスタフ・ラートブルフの法哲学上の作品選(二・完)」同志社法学 61 巻 1 号(2009 年)23-25 頁, 一部改変。

(上田健二訳「ナチス体制確立期からその死に至るまでのグスタフ・ラートブルフの法哲学上の作品選
(二・完)」同志社法学 61 卷 1 号(2009 年)23-25 頁, 一部改変。)

2019年度(平成31年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第1期募集)
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	政治思想史		
問題区分	一般・外国人・共通	解答用紙枚数	1枚

(「政治思想史(英語)」とは別の解答用紙を用いて解答して下さい。)

以下の問いに全て答えなさい。

問い一 「多数者の専制」とはどのような社会において生じてくるどのような問題か簡潔に説明しなさい。

問い二 「他者危害原理」が近代自由主義の本質とどのように関係しているか簡潔に説明しなさい。

問い三 消極的自由／積極的自由の違いを述べたうえで、それに関するアイザイア・バーリンの主張を簡潔に説明しなさい。

問い四 コミュニタリアンによるリベラル批判の要点を述べなさい。

2019年度(平成31年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第1期募集)
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	政治思想史 (英語)		
問題区分	一般・外国人・共通	解答用紙枚数	1枚

(「政治思想史」とは別の解答用紙を用いて解答して下さい)

以下の英文を和訳しなさい。

(John Stuart Mill, On Liberty より一部省略のうえ、引用)

2018年度(平成30年度)10月入学 金沢大学大学院人間社会環境研究科
入学試験問題(法学・政治学専攻)

試験科目	刑法		
問題区分	外国人留学生特別選抜	解答用紙枚数	2枚

以下の問題の全てに解答しなさい。なお、各問題につき1枚ずつ解答用紙を使用し、それぞれの冒頭に問題番号を明記すること。

問題1

故意への従属性が問題となる事案をその具体例を挙げて提示し、この従属性の要否に係る諸見解をその理論的根拠と共に示したうえで、これらの見解による上記具体例の処理を見解ごとに説明しなさい。

問題2

公務の業務性に係る4つの主要見解のそれぞれにつき、理論的根拠と向けられうる批判とを説明しなさい。